

製品名: GRB14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11749**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	GRB14
別名	GRB14; Growth factor receptor-bound protein 14; GRB14 adapter protein
遺伝子 ID	2888.0
SwissProt ID	Q14449
免疫原	抗血清はヒト GRB14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

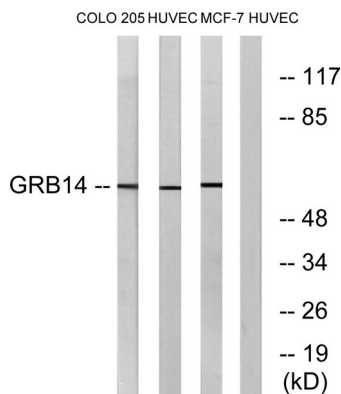
この遺伝子産物は、多くの受容体チロシンキナーゼおよびシグナル伝達分子と相互作用することが知られているアダプタータンパク質の小規模ファミリーに属します。この遺伝子は、インスリン受容体およびインスリン様成長因子受容体と相互作用する成長因子受

容体結合タンパク質をコードします。このタンパク質は、受容体チロシンキナーゼシグナル伝達、特にインスリン受容体シグナル伝達に阻害作用を持つと考えられます。この遺伝子は、成長と代謝を制御するシグナル伝達経路において役割を果たしている可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年12月]、機能: 自己リン酸化インスリン受容体の細胞質ドメインと相互作用し、その後阻害されます。この相互作用は SH2 ドメインによって媒介されます。、PTM: セリン残基がリン酸化されています。、類似性:GRB7/10/14 ファミリーに属します。、類似性:1つの PH ドメインを含みます。、類似性:1つの Ras 関連ドメインを含みます。、類似性:1つの SH2 ドメインを含みます。、サブユニット:TNKS2 のアンキリン繰り返し領域に N 末端を介して結合します。、組織特異性:肝臓、腎臓、膵臓、精巣、卵巣、心臓、骨格筋で高レベルで発現します。、

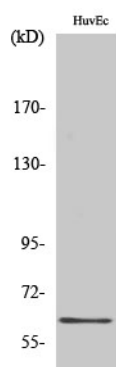
研究分野

幹細胞経路

画像データ



GRB14 抗体を用いた HUVEC、COLO、MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GRB14 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析